



全国私立大学FD連携フォーラム

Japan Private
Universities

FD Coalition Forum News Letter No.1

日本の新しい「高等教育の質保証」標準をめざします。



CONTENTS

- P 2 JPFF 概要（発足の経緯・組織図・活動内容）
- P 4 これまでの取り組み紹介
- P 6 参加大学の紹介
- P15 JPFF 規約
- P16 入会のご案内





全国私立大学FD連携フォーラム

Japan Private Universities FD Coalition Forum

発足の経緯

学生の規模や多様性の面で共通の課題を抱える中規模以上の私立大学が互いに持てる力を出し合い、FD（ファカルティ・ディベロップメント）分野において連携することを目的として、全国私立大学FD連携フォーラムを2008（平成20）年に発足しました。このフォーラムでは、実践的なFDプログラムを共同開発・共同実施することを通じて、学生を主体的学習者に育てて、私学の教育の質を保証することを大きな目的としています。

代表幹事校：立命館大学

幹事校

関西大学 法政大学
関西学院大学 明治大学
慶応義塾大学 立教大学
中央大学 早稲田大学
同志社大学

会員校

青山学院大学 芝浦工業大学
神奈川大学 東京農業大学
京都産業大学 東北学院大学
甲南大学 名城大学
国土館大学

（50音順）

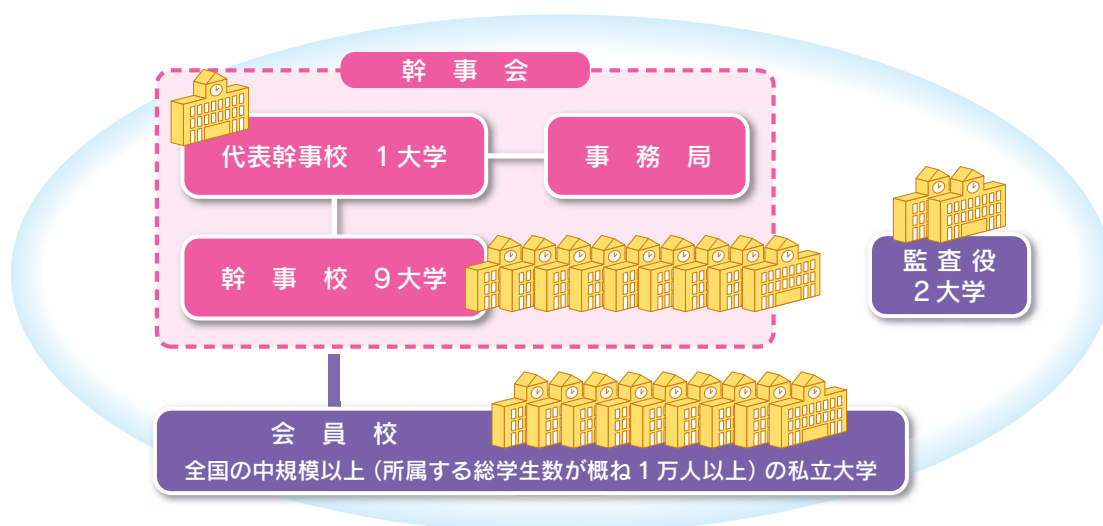
2010（平成22）年3月現在

組 織 図

設立目的 全国の中規模以上の私立大学が連携してFD（ファカルティ・ディベロップメント）を推進することにより、日本の新しい「高等教育の質保証」標準を目指す。

活動内容 ◎FDに関わる取り組みや研究の共同開発・実施 ◎FDに関わる教材・資料・情報の提供・共有
◎全国への情報発信（ホームページの作成、広報誌の発行など） ◎その他、前条の目的を達成するために必要な活動

全国私立大学FD連携フォーラム



活動内容

現在、全国私立大学 FD 連携フォーラムは、立命館大学が 2008(平成20)年度に採択された、文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」の補助金により運営しています。FDに関わる各大学の実践交流のほか、実践的な FDプログラムの共同開発ならびに運用を進めており、採択期間が終了する 2010

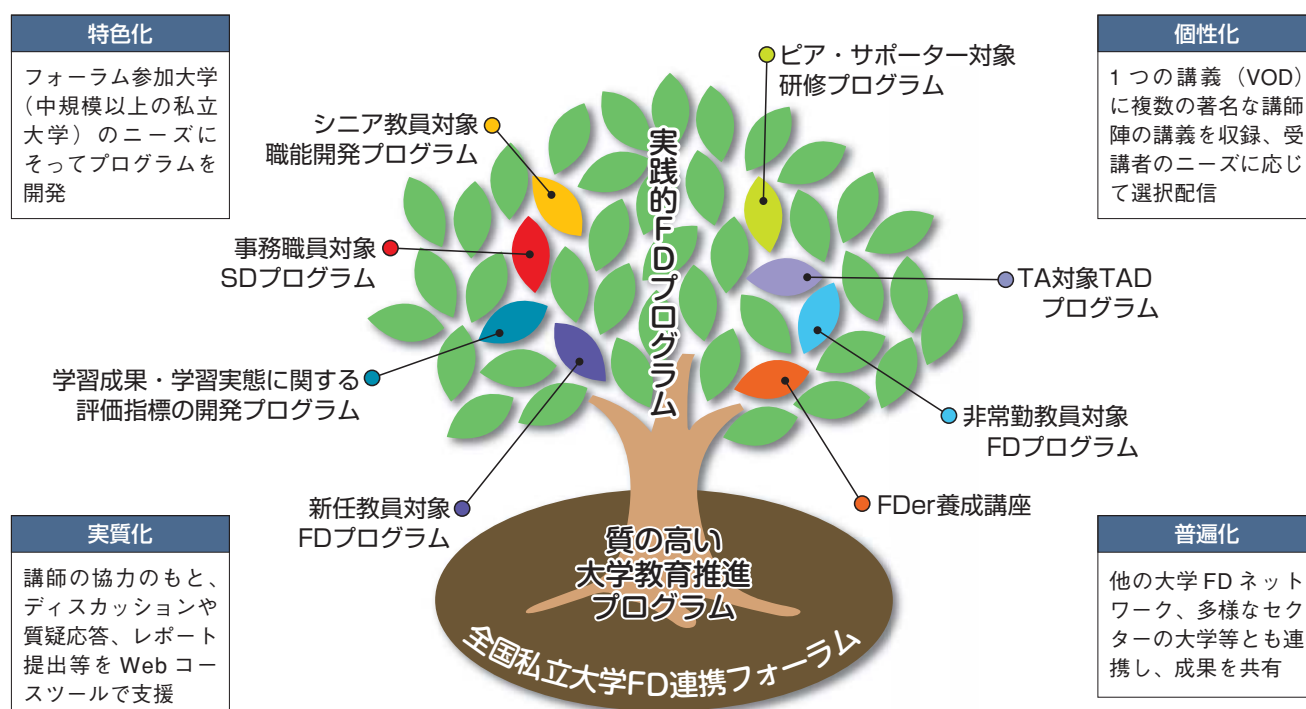
(平成22)年度までは、会員校に本プログラムを無償提供します。

本プログラムでは、教育、研究、社会貢献に関する理論や大学組織人として必要な管理・運営、コンプライアンスなどを学ぶため、著名な講師陣のビデオ講義を受講者のニーズに応じて選択できるようオンデマンド配信しています。

FDマップからのモジュール・プログラム抽出例



「大学教育の質保証」の木



これまでの取り組み紹介

2008(平成20)年度 行事・会議

- **第1回「全国私立大学FD連携フォーラム」設置検討に向けた懇談会**
日 時：2008(平成20)年6月6日(金) 13:00～15:00
場 所：立教大学 池袋キャンパス12号館2階 総長室大会議室
- **私立大学の抱える共通の教学課題に関する意見交換会**
日 時：2008(平成20)年7月31日(木) 13:00～18:00
場 所：立命館大学 朱雀キャンパス6階 601東会議室
- **第2回「全国私立大学FD連携フォーラム」設置検討に向けた懇談会**
日 時：2008(平成20)年10月16日(木) 14:00～16:00
場 所：早稲田大学 大隈会館3階 N301会議室
- **全国私立大学FD連携フォーラム設立総会、設立記念式典**
日 時：2008(平成20)年12月6日(土)
会 場：立命館大学 朱雀キャンパス1階 多目的室
- **欧州における高等教育調査**
期 間：2009(平成21)年2月17日(火)～27日(金)
訪問先：トゥエンテ大学 (University of Twente)
ヨーロツパ革新大学コンソーシアム (ECIU; European Consortium of Innovative Universities)
ヨーロツパ大学協会 (EUA; European Universities Association)
オルボア大学 (Aalborg University)
北欧圏高等教育質保証連盟 (HOQA) 主催 授業改革セミナー
- **ティーチング・ポートフォリオ学習会**
日 時：2009(平成21)年3月11日(水) 9:30～14:30
場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館216教室
- **第1回 ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム**
関東会場 日時：2009(平成21)年3月7日(土) 13:00～16:00
場所：立教大学 太刀川記念館 多目的ホール
関西会場 日時：2009(平成21)年3月14日(土) 13:00～16:00
場所：立命館大学 敬学館210教室
- **オンデマンド講義(18講義)、ワークショップ(10講座)の開発**



私立大学の抱える共通の教学課題に関する意見交換会



全国私立大学FD連携フォーラム設立総会、設立記念式典



欧州における高等教育調査



ティーチング・ポートフォリオ学習会



第1回ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム

2008(平成20)年度 発行物

- 全国私立大学FD連携フォーラム紹介パンフレット
- 2009年度 新任教員対象「実践的FDプログラム」受講ガイドブック



2009(平成21)年度 行事・会議

●FD マップ検討ワーキング

日 時：2009(平成21)年 4 月24日(金) 13:00～17:00
場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 至徳館 4階 402会議室



FDマップ検討ワーキング

●2009年度 第1回 幹事会

日 時：2009(平成21)年 5 月16日(土) 13:00～14:00
場 所：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー 6階 第4会議室



2009年度総会およびパネルディスカッション

●2009年度 総会およびパネルディスカッション

日 時：2009(平成21)年 5 月16日(土) 14:00～17:00
場 所：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー 6階 1063教室

●幹事校ミーティング

日 時：2009(平成21)年 7 月16日(木) 16:00～17:30
会 場：立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

●教育 GP 中間報告会

日 時：2009(平成21)年 8 月22日(土)・23日(日)
会 場：立命館大学 朱雀キャンパス



教育GP中間報告会

●第2回 ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム

関東会場 日時：2009(平成21)年 9 月24日(木) 13:00～17:00
場所：同志社大学 今出川キャンパス
関西会場 日時：2009(平成21)年 9 月24日(木) 13:00～17:00
場所：中央大学 後樂園キャンパス



教育GP中間報告会

●幹事校ミーティング

日 時：2009(平成21)年11月17日(火) 16:00～17:30
会 場：立命館大学 東京キャンパス／衣笠キャンパス

●2009年度 第2回 幹事会

日 時：2009(平成21)年12月 9 日(水) 14:00～16:00
会 場：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館大会議室(北館3階)

●第3回 ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム

関東会場 日時：2010(平成22)年 3 月18日(木) 14:00～16:00
場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー 3階 BT0309教室
関西会場 日時：2010(平成22)年 3 月 5 日(金) 14:00～16:00
場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス G号館311教室



第2回ファカルティ・ディベロッパー養成プログラム

●オンデマンド講義(15講義)とワークショップ(5講座)の開発

2009(平成21)年度 発行物

- 全国私立大学 FD 連携フォーラムニュースレター
- 実践的 FD プログラム紹介パンフレット
- 2010年度 新任教員対象「実践的 FD プログラム」受講ガイドブック



参加大学の紹介

立命館大学

Ritsumeikan University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

授業などで学生たちと直に接する機会の多い教員にとっては、いかに日々の教育において学生たちの学力を保証するかは大きな課題です。そこで、本フォーラムでは、参加大学が独自に実施している教員研修を公開し合うだけでなく、同じ地域にある大学同士が協働で研修を開催したり、教員同士・学生同士が継続して交流し合える場やネットワークを作っていければと期待しています。

● 学内の FD 実践紹介

立命館大学における FD の定義は、「建学の精神と教育理念を踏まえ、学部・研究科・他教学機関が掲げる理念と教育目標を実現するために、カリキュラムや個々の授業についての配置・内容・方法・教材・評価等の適切性に関して、

教員が職員と協働し、学生の参画を得て、組織的な研究・研修を推進するとともに、それらの取り組みの妥当性、有効性について継続的に検証を行い、さらなる改善に活かしていく活動」となっています。この定義に基づき、様々な取り組みを進めていますが、その1つとして学生FDスタッフを組織しています。学生FDスタッフは、授業や教育の改善を目指して学生が主体的に活動することを目的に2006(平成18)年度に発足しました。学部や回生の垣根を越えてスタッフ同士が交流し、授業紹介冊子の作成や学生FDサミットの開催などを企画・実施しており、立命館大学の授業をより良くするために学生発信の活動を進めています。



他大学にも広く参加を呼びかけた
学生FDサミット

■ 実践的 FD プログラムの活用事例 ■

立命館大学では、新任教員研修として実践的 FD プログラムを利用しています。15本のオンデマンド講義と10本のワークショップを抽出し、特に教育経験の浅い教員を対象として、着任年度とその翌年度の計2年間で研修期間と位置づけて参加を呼びかけています。また、これに加えて、個々の新任教員へのサポートとして、教育コンサルテーションも同時進行で行なっています。これは、日常の授業や学生とのコミュニケーションに関わって生じる疑問や課題について相談に乗るというものです。

なお、立命館大学における新任教員研修の到達目標は、「自ら担当する授業科目について、教育目標や育成する人材像との関係や位置づけを理解するとともに、カリキュラムの設計、実施、評価に関して、担当する科目の学問的専門性と教育学の観点からその適切性、妥当性、有効性を省察し、改善できる基礎的な能力を修得する」としています。新任教員研修の成果を踏まえ、今後は、ファカルティ・ディベロッパー養成プログラムや学部執行部研修、職員研修(SD)、教育助手研修(TAD)にも実践的FDプログラムを展開していきたいと考えています。



新任教員研修でのグループワーク



ティーチング・ポートフォリオ研修

関西大学

Kansai University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

本フォーラムが、各校の抱えている個別の課題を相互に理解し、また中規模以上の私立大学特有の課題を共有しつつ、共同で改善策を見出していけるような場になればと考えています。さらに、各校の実情にあった FD 活動を展開するために、知識や経験、アイデアを交換し、共に創造していく場となることを期待しています。

● 学内の FD 実践紹介

関西大学では、長期ビジョンで掲げる『『考動力』あふれる人材の育成拠点』を目指すため、組織的かつ継続的に教育内容・方法の改善活動を行うことを目的に、教育推進部の傘下に「教育開発支援センター」を設置し、専任教員を配置しています。

教育開発支援センターでは、教員・職員・大学院学生スタッフの三者協働によるプロジェクト型で教育制度に関する企画立案や教育実践に関する調査・研究を推進し、現在は、① TA・SA の活用について ② 授業アンケートの再構築 ③ ICT を活用した教育実践の研究・推進、の3つの課題に取り組んでいます。また、教員・職員・学生が F (フード) と D (ドリンク) を片手に教育・学習の話ができる「Salon de FD (サロン・ド・エフディ)」を開催し、気軽に楽しい FD 実践の場づくりを進めています。



Salon de FD (サロン・ド・エフディ)の様子

慶應義塾大学

Keio University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

FD への取り組みに関しては、大学ごとに大きな差があり、本学はまだこれからという位置にあると考えています。本フォーラムに参加することで、他大学の状況を学び、また意見交換する機会を得るなど、フォーラムの存在意義は非常に大きなものであると考えています。今後もこの場を活用して、学内における FD の活性化を進めていくことができればと思います。

● 学内の FD 実践紹介

大学設置基準の改正を受け、本学の各学部・各研究科単位で行われている FD について、相互に情報・意見を交換し、学部・研究科での取り組みに資し、また、大学全体の取り組みへの提言を行うための組織の必要性が

再確認されました。本学においては、従来から大学教育委員会が設置されており、全学的な FD に関連する事項を検討しています。しかし、同委員会は、様々な事項を検討してきたものの、委員数の多さなどによる問題点も指摘されてきました。そこで、FD に特化した議論、方策の策定のために、適正な規模の委員会を同委員会のもとに設置することで、議論の機動性を高め、かつ、今までの同委員会の議論の財産を引き継ぐことができると考え、全学部・研究科から選出された教員により「FD 委員会」を新たに組織しました。この委員会にはさらに、教育のみならず研究環境の整備を目的に加えることで、教育と研究の融合による双方の向上を目指す視点も加えて学内の情報・意見交換を行っています。

参加大学の紹介

中央大学

Chuo University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

大学における FD は義務化こそされたものの、その活動内容や質には幅があり、学生にとって有益な教育の質を保証するものとしての明確な形は未だ見えていないように思われます。そういった状況の中で、私立大学が各自の建学の精神に根ざした特色ある教育活動を展開しつつも、教育手法や効果測定方法を共有し、多くの学生にとって魅力的な教育を提供することを共通の理念として持つ本フォーラムの存在意義は、非常に大きいものだと思っています。

● 学内の FD 実践紹介

本学ではこれまで、FD 活動を各学部・研究科の独自のものとして委ねてきましたが、それらの情報を束ねる

横断的検討組織として「FD 推進委員会」を設置しました。FD 推進委員会は、各学部・研究科での FD 活動を担当する教員と、各事務組織の教務担当職員を委員として構成されており、それぞれが抱える学生や専門分野の違いを超えて、FD の現場で起こっていることを共有する機会として機能しています。委員会では本フォーラム等の情報を告知するなどの外部状況を共有すると同時に、事前に指名した学部・研究科から FD 活動に関する実情報告をしてもらい、それに対して質疑応答を行うなど、非常に活発な情報交換の場となっています。また委員会メンバーにはメーリングリストを通じて「中央大学 FD 通信」を発信し、委員会開催の予定が無いときにもリアルタイムな情報を流しています。

同志社大学

Doshisha University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

昨今の大学教育改革の流れを受け、同志社でも数年前より教育改革に取り組んでおり、制度面での改革はある程度進んできましたが、教員・職員を含めスタッフが不足していることから、実践面において他大学に遅れをとっていると感じています。本フォーラムに参加することを通して、各大学で既に実践されている先進事例とそれを可能にしたノウハウを吸収し、本学の教育改善にフィード



新任教員研修の様子

バックすると共に、この機会を通じて、本学での独自性のある取り組みについても、大学間のみならず社会にも周知する場として活用していければと考えています。

● 学内の FD 実践紹介

同志社大学では、全学的な教育施策の企画・開発、ならびに教育活動の継続的な改善の推進及び支援を目的として「教育開発センター」を設置し、その中に全学の教育内容・授業方法の改善に関わる企画及び推進を行う FD 支援部会を中心とした各種部会を設け、本学における教育の質の向上に向けた制度改善に取り組んでいます。またこれらの全学的な部会の設置と並行して、各学部・研究科・センターにおいて実効性のある FD を展開するために、各学部等内に「FD 委員会」を設置し、そこでシラバスの点検や、学部固有のニーズに合わせた FD 企画の実施等、各学部、研究科、センターの意向と自主性を尊重しつつ、全学的な方針と融合をはかる FD を推進しています。

法政大学

Hosei University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

本フォーラムには、特に私立大学に特化した、多岐に亘る共通課題の解決に向けた FD や SD、学生の取り組みを単に事例紹介し合うだけでなく、各大学での運営に役立つような情報共有が可能なネットワークとしての役割を期待しています。

● 学内の FD 実践紹介

FD 推進センターでは、「教育の質的向上に向けた全学的な教育支援施策の企画・開発、FD の推進と各学部等の FD 活動の支援を行う」ことを目的とし、『『自由と進歩』の建学の精神に基づく教育理念と教育目標を達成するためになされる、教育および学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による組織的・継続的な取り組みを、

FD と定義する」としています。この定義に基づき、単位の実質化で求められる学習の促進方法などについて各教学単位で話し合うための

ツールとして「振り返りシート」を提供したり、本学の FD 活動のさらなる推進のため各種テーマのシンポジウムを開催したり、本学の FD 活動に学生の声を活かすための「FD 学生の声コンクール」を開催しています。また、学生・教員に向けた情報提供として、FD ハンドブックや学習支援ハンドブックの発刊等を行っています。

文責：川上忠重（教育開発支援機構 FD 推進センター長）



法政大学「第7回 FD シンポジウム」での
パネルディスカッション

明治大学

Meiji University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

中教審の「学士課程教育の構築に向けて」でも記載されているように、わが国において FD は多くの大学で実施されていますが、それが成果をあげていると回答した割合は 1 割に満たないようです。明治大学でも、学生による授業評価や新任教員研修会等の FD を実施していますが、



初年次教育フォーラム

このような活動が個々の教員の授業改善のために十分な効果をあげているとは言えない状況にあるのではないかと考えています。現状を少しでも

も改善していくために、本フォーラムを通して、FD に関連した他大学の取り組みや文部科学省等の政策に関する情報を得たいと考えています。

● 学内の FD 実践紹介

明治大学では、FD について、個々の教員の授業に加え、全体のカリキュラムや教育環境にも焦点を当て、それらを改善・向上させるための取り組みとして位置付けています。取り組みの一つである初年次教育に関しては、2008（平成 20）年度は 2 名の外部講師を招いて講演会を実施し、2009（平成 21）年度は 4 名の学内教員の報告を中心とした学内フォーラムを実施しました。明治大学では、初年次教育に関する認識が低いためか、参加者はそれほど多くありませんでしたが、学部の壁を超えた意義深い議論ができました。

参加大学の紹介

立教大学

Rikkyo University

●全国私立大学FD連携フォーラムへの期待

本フォーラムに参加しているのは、総学生数が概ね1万人以上の大規模大学です。ですから、比較的小規模の大学に比べて改革スピードが上がらない、大規模授業が多くそれに適した授業運営の工夫が求められる、学部数



シンポジウム、FDワークショップの記事が掲載されたニュースレター

など共通する課題を抱えています。本フォーラムがそのような課題に関する情報交換の場になっていることに多いに期待しています。現在開発

中の実践的FDプログラムは、例えば本学が取り組もうと思っても自力ではとてもかなえられない大規模なものです。参加大学の知恵や経験を集約して質の高いコンテンツが蓄積され、各大学で活用されることを願っています。

●学内のFD実践紹介

2008(平成20)年度に「各学部・研究科のFDガイドライン」をまとめ、同年度から各学部等におけるFD進捗状況を定期的に報告・共有するようになりました。また、全学のFD支援を行う「大学教育開発・支援センター」では、全学の教職員を対象に種々のプログラムを展開しています。例えば、シンポジウムは毎年2回開催しています。加えて2009(平成21)年度は、FDワークショップ「授業見学」を4回実施しました。

早稲田大学

Waseda University

●全国私立大学FD連携フォーラムへの期待

FDの取り組みには、様々なレベルでの困難がつきものです。それは、各大学のFD推進担当者が日々実感していることではないでしょうか。本フォーラムには、各参加大学が享受できる実効性のある支援機能を期待しています。そのためには、各大学のFD推進機関の横の連携を深めることが第一歩だと考えますが、ゆくゆくは本



Course N@vi セミナー (事例報告会)

フォーラムが私立大学のFD活動のオピニオンリーダー的な存在になることが理想です。今後は、本学ならではのFDを紹介す

ることなどを通じて、微力ながらフォーラムの活動に貢献できればと考えています。

●学内のFD実践紹介

早稲田大学ではFDを、「教育の質を保証し、さらに向上させるための組織的な取り組み」と捉えています。2007年10月に、FDに関わる全学的な議論、調整を行うために、「FD推進委員会」を立ち上げました。また、2008年10月に、教務部外局として「FD推進センター」を設置し、FD活動の充実化、実質化のための体制を強化しました。

これまで、授業回数(半期15週)の徹底、全学的なGPAの導入、本学独自の授業支援システム「Course N@vi」の利用率向上による授業改善への取り組みなどを行ってきました。

青山学院大学

Aoyama Gakuin University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

現在、学内のFDについて様々な企画を検討している段階で、本フォーラムを通じて、他大学の特色ある取り組み事例を参考にしたいと考えています。

● 学内のFD実践紹介

2009(平成21)年度から学内公募による、教育の質的向上を目指す取り組みや新たな教育プログラム開発を支援する制度を実施しています。学部・学科単位だけでなく、学部横断的な取り組みにも支援することが本制度の特徴となっています。プログラム採択については、公正を期すことから、学外の高等教育の専門家の方を外部評価委員として選任し、同評価委員会で予算配分額までを含めた審査を行い、5件を採択しました。現在、各申請者グループで、

プログラム開発等を展開しているところであり、2010(平成22)年3月上旬に結果報告を提出後、外部評価委員会を実施し検証することになっています。得られた成果は全学部で共有し、発展的に活用することを目的としており、2010(平成22)年度の「FDフォーラム」にて発表予定です。

また、本学の教養教育の中核をなす「青山スタンダード教育」が2003(平成15)年度にスタートしました。この教育内容に関して年2回「全体フォーラム」を開催し、教育の質を高めるよう努めています。



全体フォーラムの様子

神奈川大学

Kanagawa University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

同規模の私立大学におけるFDの課題には類似する部分が多いとの認識から、独自の教育支援組織を持たない本学においては、実践的FDプログラムを活用しながら、さらに独自のFD活動を展開して、より実質的な組織的教育改善を図っていくこととしています。また、他大学



FD研修会の様子

の教職員・学生との積極的な交流を促し、本学からも本フォーラムの活動を発展させるための情報発信に努めていきたいと考えています。

● 学内のFD実践紹介

神奈川大学におけるFDの定義は、「本学の教育理念並びに各学部及び各研究科の教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な日常的教育改善を実施する活動と、それを支援するため、教職員が協働して組織的な研修及び研究を実施する活動」です。

この定義に基づき、FD活動では、まず大学の理念・目標を確認することから始め、各学部・研究科における教育理念を再確認し、それぞれに適したFD活動を推進することが重要だと考えています。

そのために「FD全学委員会」を、毎月1回開催し、各学部・研究科のFDを連携して実施することに加え、年に数回、FD関連の第一人者をお招きしてFD研修会を開催して他大学の事例を参考にしています。

参加大学の紹介

京都産業大学

Kyoto Sangyo University

● 学内の FD 実践紹介

本学は、1998(平成10)年からFDを開始しました。その取り組みは授業改善にとどまらず、広義の意味でのFDを推進しています。つまり、教育・研究を含めた全ての教員の資質・能力向上のための活動を支援しています。具体的には、2006(平成18)年から導入した「教員評価



教員評価制度導入の新聞記事

制度」により、教員の教育力、研究力、社会貢献の3項目に関する活動について、組織的に良い改善を推進する体制を整えました。また、

より一層の活性化を図るため、これまでの「教育エクセレンス支援センター」を発展的に改組し、2010(平成22)年4月から「教育支援研究開発センター」として再編します。これにより全学的なFDだけでなく、学部・研究科独自のFDの活性化、高等教育研究などにも力を注ぐこととなりました。

本学では、学生による授業の相互評価アンケートを、年2回郵送により全学生・全科目について実施し、その集計結果や学生の自由記述に対して、各教員の所見も作成し、学内WEBで公開し、学生と教員の教育改善についてのコミュニケーションを図っています。

また、優れた授業を教職員が見学し、その後のワークショップで意見交換を行う「公開授業週間」を年2回実施し、具体的な教育方法の改善にも努めています。

甲南大学

Konan University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

本学では、「FD委員会」を中心とし、研修機会の提供や授業改善アンケートの実施など大学として組織的な支援体制の構築を目指しています。本フォーラムでは、アクティブ・ラーニングを実践的に取り入れる方法について他大学の実践例などから学び、教育の向上に役立てたいと期待しています。

● 学内の FD 実践紹介

本学では全学的なFD委員会に加え、各学部等に個別FD委員会を設置する規定を設けFDを推進しています。授業改善アンケートやFD講演会の企画・実施、ホームページなどでの情報発信を効果的に行うためFD委員会を毎月開催するほか、「企画・運営」「広報・情報」「授業改善」

「大学院」の分科会・部会を設置しています。シラバスのガイドライン作成、授業アンケートの公表や活用、指導主任制度の活性化、授業マナーの向上についても積極的に取り組んでいます。FD講演会では、FDを広義にとらえて考察してきました。「Beyond FD」というテーマで、高校教育、大学教育、企業の立場からFDを議論し、高校や企業だけでなく、地域と共同で学生を育てる「ぐるみ教育」に、大学におけるFDの今後の方向性が示されているという結論に至りました。



FD講演会「Beyond FD」

国士館大学

Kokushikan University

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

国士館大学では、学生の「居場所作り」として「学生＋教員＋学生」の輪の形成という早期の学内の人間関係形成を目指した不登校対策に取り組んでいます。こうした私立大学が抱える困難な共通課題について、教員間の意見交換や交流・協働の場として本フォーラムが機能することを望んでいます。国士館大学は本フォーラムの活動を通して、他大学の数多くの実践事例を参考としながら、各学部のFDをその教育現場で牽引するファカルティデベロPPERの輩出に取り組みたいと考えています。

● 学内のFD実践紹介

国士館大学の教員の教育研究活動、とりわけ授業内容・方法を改善し、教育能力を向上させるためのFDの方策

を恒常的に検討し、各学部等において組織的な取り組みを進めることにより、学士力および研究力を身に付けさせる教育を実施することを目的として、2009(平成21)年に全学的な機関として「FD委員会」を設けました。FD委員会は、FDポリシーを標語化し、「国士館大学のFDは、建学の理念と教育目標を達成するために、①授業・教授法の改善 ②カリキュラムの改善 ③組織整備・職能開発に取り組む」と決めました。こうしたFD活動の成果として、今年度から入学前教育～卒業までの一貫した「eポートフォリオ」の導入が行われています。学生の学習成果物や履歴を蓄積し、学習成果の可視化を図ることで、教育・指導等への活用が期待されています。

東京農業大学

Tokyo University of Agriculture

● 全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

私立大学では様々な悩みを共有しています。例えば、大学教育の質保証が求められている中、入試制度の多様化による学生の学力のばらつき、教員の担当授業時間数の多さによるオフィスアワーや研究時間の減少等、今後解決しなければならない問題が山積しています。その中で、教員同士が悩みを分かち合えることや、事例を交換できるフォーラムになることを期待します。

● 学内のFD実践紹介

短期大学部では2009(平成21)年2月に、ティーチングプロセスを学ぶことにより、知識教育としての学問だけではなく、人間の生活と命に直結する学問という観点から統合的な人間力向上の教育を目指す姿勢と方法論を学ぶ

ことを目的としてFD研修を実施しました。

内容はSTEP1の基礎研修とSTEP2のスキル研修からなり、STEP1は全員、STEP2は20名でクラス分けをし、4コース(マインドマップ研修、コミュニケーション研修、アクションラーニング研修、プレゼンテーション研修)を各2回開講し、全員が4コースを受講しました。結果としては、学生への対応の変化等を実感したとの教員の声が多く寄せられました。今後は全学の教員に対し実践していきたいと考えています。



FD研修の様子

参加大学の紹介

東北学院大学

Tohoku Gakuin University

●全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

2009(平成21)年3月に開催された、本フォーラム主催のファカルティ・ディベロッパー養成プログラムのテーマは「シラバスの到達目標をどう書くか」というもので、大いに勉強になりました。単なるハウツーではなく、大学教育のあり方についての考えを大転換させられる内容だったからです。大学に戻った私は、全学のFD研修会等でシラバスに到達目標を記載する欄を設けなければならないことを強調し、その欄に何をどう書くべきかを話しました。その結果、本学のシラバスにも到達目標の記載欄ができました。書き方が問題になるのはこれからでしょう。このような改善を少しずつ積み上げていく機会を提供してもらえること、それが本フォーラムへの期待です。

●「行事」としてのFD活動からの脱却

FDの義務化を背景として、教員にはFDへの参加圧力が強まります。すると、FD行事への参加は、FD実践の熱心さではなく、大学組織への忠誠の強さの証のように映ります。そう思われたくない教員はFDへの参加をためらいます。

最近、ようやく、大学のFDを啓蒙対象者や組織忠誠者による「行事」としてではなく、文字どおり教員個人及び教員組織の発達・向上のための契機として受け止める動きが出ています。もともとのFD理解が浸透しつつあります。それに応える、有益で実践的なFDプログラムを準備することが大学の次の課題だと考えています。

文責：斎藤誠（学務担当副学長）

名城大学

Meijyo University

●全国私立大学 FD 連携フォーラムへの期待

名城大学では「FDを通し、学生及び教職員のモチベーションを最大化する『名城教育力』を自主・自律の探求精神に基づき持続的に創出する」のミッションのもとに、活動を展開しています。本フォーラムの活動を通じて、



第2回 T&L CAFE ～授業の工夫を共有する～

参加大学間の連携による教職員の活発な交流が行われること、各大学におけるFDの工夫を共有し自大学の取り組みを振り返る機会となることを期待しています。

●学内のFD実践紹介

名城大学では、2000(平成12)年度から大学全体で、教育改善の知恵と工夫を共有する場としてFDを推進しています。2009・2010(平成21・22)年度のFD活動方針は「学生の主体的な学びを促すための、教育活動の探求・実践および蓄積を目指したFD環境構築」であり、FD委員会を中心に活動を展開しています。FD委員会はFD企画委員会のもとに、5つのチームと1つの委員会を有し、教育年報の発行を通して、教育活動の研究・実践活動の共有・蓄積を目指すとともに、教育について語り・考える機会づくりとしてT&L(Teaching and Learning) CAFEの企画、FDフォーラムの開催、授業満足度アンケート、教育優秀職員表彰などの実践を行っています。

■ 全国私立大学 FD 連携フォーラム規約 ■

第1章 総則

【名称】

第1条 この連携体は、全国私立大学FD連携フォーラム(以下「本フォーラム」という。)と称する。

【目的】

第2条 本フォーラムは、全国の中規模以上の私立大学が連携して、FD（ファカルティ・ディベロップメント）を推進することを目的とする。

【活動】

第3条 1. 本フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の各号に定める活動を行う。
2. FDに関わる取組や研究の共同開発・実施
3. FDに関わる教材・資料・情報の提供・共有
4. 全国への情報発信（ホームページの作成、広報誌の発行など）
5. その他、前条の目的を達成するために必要な活動

第2章 会員校

【会員校】

第4条 1. 全国の中規模以上の私立大学のうち、本フォーラムへの入会を希望するときは、幹事会に所定の届出を行い、承認を得ることにより、本フォーラムの会員校になることができる。
2. 前項の「中規模以上」とは、所属する総学生数が概ね1万人以上の大学とする。また、幹事会が会員校に相応しいと判断した大学もこれに含む。
3. 参加単位については、大学や機関等組織体による参加とする。
4. 会員校は、第3条に定めた諸活動に参加することができる。
5. 本フォーラムを退会するときは、本フォーラムの事務局に届け出なければならない。

【会費】

第5条 会員校は、本フォーラムの定めるところにより、毎年会費を納めなければならない。

第3章 組織

【総会】

第6条 1. 本フォーラムは、原則として毎年1回総会を開催する。
2. 総会は、全会員校をもって構成する。
3. 各会員校は、当該会員校を代表して総会に出席する者1名をあらかじめ登録しなければならない。ただし、会員校に所属する他の者が、あらかじめ登録した者を代理し、または総会に陪席することを妨げない。
4. 総会は、次の事項を審議する。
(1) 会費に関すること
(2) 年度ごとの活動方針、活動報告に関すること（予算、決算報告を含む）
(3) 代表幹事校、幹事校および監査役の選出に関すること
(4) 規約の改正に関すること

(5) その他重要な事項

5. 前項に定めるもののほか、総会の議事の運営に関し必要な事項は、総会で定める。
6. 総会は、会員校の半数以上が出席しなければ、開会することができない。
7. 総会の議事は、出席の会員校の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長校が決する。

【代表幹事校および幹事校】

第7条 1. 本フォーラムに、幹事校10校を置き、そのうち1校を代表幹事校とする。
2. 幹事校は、会員校の中から、総会での互選により選出する。
3. 代表幹事校は、第8条第3項第1号による幹事会の推薦に基づき、総会での承認を得て、選出される。
4. 代表幹事校は、総会および幹事会を招集し、議長校となる。

【幹事会】

第8条 1. 本フォーラムに幹事会を置き、代表幹事校および全幹事校で構成する。
2. 代表幹事校および幹事校の任期は2年とする。ただし、いずれも再任を妨げない。
3. 幹事会は、次の事項を審議する。
(1) 代表幹事校の推薦に関すること
(2) 本フォーラムの活動に係る企画立案に関すること
(3) 本フォーラムへの入会および退会に関すること
(4) 総会の議案に関すること
(5) 本フォーラムの運営に関すること
(6) その他重要な事項であって、緊急に決定を要すること
4. 幹事会が前項第6号の規定による決定をした場合には、総会その他の方法により、会員校に速やかに報告し、承認を受けなければならない。
5. 幹事会は、必要と認めるときは、幹事校以外の会員校または者を出席させて、説明または意見を聴くことができる。
6. 幹事会の運営については、この規約に定めるもののほか、幹事会で別に定める。

【監査役】

第9条 1. 本フォーラムに監査役2校を置く。
2. 監査役は、会員校の中から、総会での互選により選出し、会計を監査する。
3. 監査役の任期は、2年とする。

【ワーキング・グループ】

第10条 1. 本フォーラムの業務を遂行するため、ワーキング・グループを組織することができる。
2. ワーキング・グループの組織、運営等については、幹事会で別に定める。

【事務局】

第11条 1. 本フォーラムの事務局は、代表幹事校に置く。
2. 代表幹事校および幹事校は協力して事務局の運営にあたる。

附則 1. この規約は、2008年12月6日から施行する。
2. この規約の施行後最初の代表幹事校、幹事校および監査役の任期は、総会で別途定める。

入会のご案内 Guide to membership

現在、全国私立大学FD連携フォーラムは、立命館大学が2008(平成20)年度に採択された、文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」の補助金により運営しています。FDに関わる各大学の実践交流のほか、実践的なFDプログラムの共同開発ならびに運用を進めており、採択期間が終了する2010(平成22)年度までは、会員校に本プログラムを無償提供します。2011(平成23)年度以降の運営体制ならびに会費等については、2010(平成22)年度に検討することとしています。

全国私立大学FD連携フォーラムへのご入会については、代表幹事校事務局(立命館大学教育開発支援課)までお問合せ下さい。本フォーラムの詳細や新着情報は、下記ホームページに掲載しています。入会届等の各書式もホームページよりダウンロードできます。

<http://www.fd-forum.org/>



ご不明な点やご質問は、下記代表幹事校事務局までお問い合わせ下さい。

代表幹事校事務局

立命館大学 教育開発推進機構 (事務局: 教育開発支援課)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
◎TEL: 075-465-8304 ◎FAX: 075-465-8318
◎e-mail: fd71cer@st.ritsumei.ac.jp

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/itl/>